

令和6年度 第4回 浜松市立平山小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年2月14日（金） 15:00～16:15
- 2 開催場所 平山小学校 ひなぶ館
- 3 出席委員 山田善万、長坂和彦、山田勝英、浅野暁子、加藤良知、山崎仁也、森田佳津子
- 4 欠席委員 山田友昭、清水一則、浅野陽江、
- 5 学校支援コーディネーター 樋田まさ彥、中澤利仁
- 6 学 校 足立成寿（校長）、夏目浩敬（教頭）、飯田雅之（教務主任）、久米満代（CSディレクター）
- 7 教育委員会 牧野知子（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 久米満代
- 10 議長の選出 司会から、議長について山田善万会長の推挙があり、全員異議なく了承した。
- 11 協議事項 ①令和6年度の教育活動及び学校評価について
②令和7年度の学校運営の基本方針について
③運営協議会自己評価について
- 12 会議記録
 - ・司会の教頭から、委員総数10人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。
 - ・前回会議録の確認（久米）後、熟議に入る。

熟 議

①令和6年度の教育活動及び学校評価について

- ◆飯田教務主任から、学校評価のアンケート結果について説明があった。
 - ・令和6年12月に児童、保護者、教師にアンケート調査実施。評価は4点満点。
 - ・目指す子供像「やさしい子」「追及する子」「たくましい子」、「いじめ対応」について取り組みの説明があった。
 - ・児童、教師の評価はおおむね良好だが、「たくましい子」「いじめ対応」について保護者の評価は低めであった。
児童のがんばりや成長を、保護者にも納得できるよう取り組みを継続していく。
- ◆説明後、委員から以下の発言があった。
 - ・平くん山ちゃんチャレンジの達成率はどうか？（山崎委員）
→タイピングだと、1年生は半分の児童が目標達成している。上の学年のほうが、より頑張っている。（飯田）
 - ・評価は人それぞれ。実生活では問題なく元気にしている。（山田勝英委員）
 - ・学校のいじめ対応が、保護者に伝わっていないのではないか？（浅野暁子委員）
→児童も保護者も少人数なのでデリケートな面があり、それに伴う悩みがある。
さらに研修を積んでいきたい。（飯田）

- 記述回答で気付いた点はあったか？（山田会長）
→特段に見当たらない。しかし、アンケートの母体数が少ないので、1人の評価が大きく反映され、評価と記述が合致しない傾向も感じる。（飯田）
- アンケート自体分母が少ないので分析が難しい事もある。それでも平山小では、日頃より密な対応であると思う。（山田会長）

②令和7年度の学校運営の基本方針について

◆校長より令和7年度学校運営の基本方針の説明があった。

- 来年度、新入学生は無く児童数は28人となる。
- 2年/3.4年複式/5.6年複式の3クラスとなり、職員が1人減る。
- 市内の小学校では（5年生の30分間回泳は実施されるが）、ほぼ部活動が無くなる。平山小では、自転車部活は継続する。
- 学校経営目標に「すべての人のウェルビーイング（幸せ.良好な状態）を念頭に」を加える。

• 目指す子供像について

〈やさしい子〉人権教育に重点を置き、いじめ対応をしっかり行い、さらに事例研究を重ねていく。

〈たくましい子〉やり抜く場の設定として、平くん山ちゃんチャレンジや挨拶カードで設定し、児童のやる気をオリジナルストラップ等で応援している。ランドセルにストラップが付いている児童を見掛けたら、「やり遂げられた」と見守ってほしい。子供達の頑張りを、ブログ等で保護者にも発信していく。

〈追求する子〉国語 理科 社会 外国語は単学年授業だが、体育 図工 家庭 音楽は合同授業、算数のみ複式授業となり、支援の先生がつく。学年の授業を、その学年だけであるのが理想だが、今までの蓄積もあり、さらに研修を重ねて行っていきたい。

- 令和7年度は平山小の創立150周年（独立70周年）となる。学校行事にそれに記念した事を入れていきたい。
- 引き続き地域の方々に、一緒に子供たちの成長を支えて頂きたい。

◆説明後、委員から以下の発言があった。

- 複式授業の学習支援の現状はどうか？（山田会長）
→算数の複式授業には、必ず支援の先生がいる。（校長）
- 地域として、読み聞かせ以外にも支援が必要であれば協力したい。（山田会長）

③運営協議会自己評価について

◆教頭より、取りまとめた運営協議会自己評価について熟議していただき、今後の改善方針を見いだしたい。また、話し合いの内容を集約して本議会の評価としてまとめる。との説明があった。

◆その後、委員から以下の発言があった。

- 各々が学校の事を考えて会を進めてきたのだと“頼もしく”思う。（森田委員）
- 同じような評価が見られ、共通の理解で取り組んでいると思う。（山田会長）

- ・職員とのグループ協議を、早い時期に設けてもらいたい。早い段階で学校の要望を共有出来たらいい。（加藤委員）
- ・毎年の積み重ねが出来ていると思った。もっと気軽に声を掛けてもらっていい。（樋田 CD）
- ・人材バンクのような体制はあるのか？（山田会長）
→積み上げや人脈の中である程度あるが、加藤 CD にお願いする所も多い。（教頭）
- ・今の子供達は、もう少し自由があってもいいのでは、、、失敗があっても記憶に残る経験をしてほしい。（長坂委員）
- ・“みちくさ的”経験や失敗で、学ぶ事もある。（長坂委員.森田委員.山田会長）
- ・運動会の時、中高生が来て盛り上げてくれた。皆が支えてくれていると感じた。（中澤 CD）
→平山小では、代々、中高生が運動会に参加し、進行を手伝ってくれて助かっている。あてにしている。（校長.教頭）

13 連絡事項 （教頭）

① 次年度の平山小独立 70 周年の取り組みについて

- ・令和 7 年度は平山小の創立 150 周年（独立 70 周年）となる。
- ・式典は行わないが、資源回収での予算を活用してパンフレット等を作成し、全戸配布したい。
- ・パンフレットは、年代ごとのすごろく形式で作成している。資料の収集や精査にご協力いただきたい。

②次年度以降の学校運営協議会の組織について

- ・令和 7 年度は、2 期目(令和 5 年度からの 3 年間)の最終年となる。メンバー数人の入れ替えがある。
- ・令和 8 年度は、3 期目(令和 8 年度からの 3 年間)の初年度となる。構成員が多く替わるが、今までの積み上げが途切れないように協力をお願いしたい。

③今後の予定

令和 7 年度 第 1 回学校運営協議会

令和 7 年 4 月 22 日（火） 15:00～16:00